



# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、久井町泉 大番大池改良工事に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
  - ・土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版
  - ・農業土木共通仕様書（令和4年4月）広島県※ 土木工事共通仕様書、農林土木共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
  - ・その他関連規格類

### 第2節 現場代理人の常駐義務の緩和

監督員等と携帯電話等で常に連絡がとれることに加え、次に掲げるいずれかの事由に該当する場合には、建設工事請負契約約款第10条第3項に規定する「現場代理人の工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がなく、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合」として取扱う。

- (1) 請負代金額が4,000万円（建築一式工事にあつては、8,000万円）未満
- (2) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
- (3) 建設工事請負契約約款第20条第1項又は第2項の規定により、工事の全部の施工を一時中止している期間
- (4) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であつて、工場製作のみが行われている期間
- (5) 前3号に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間
- (6) その他、特に発注者が認めた期間

### 第3節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。  
広島県工事中情報共有システム  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点を把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

### 第4節 施工体制台帳

技術者台帳及び役割分担表の提出は不要とする。

## 第5節 週休2日工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休2日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市 週休2日工事等実施要領」に基づき実施するものとする。

## 第6節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
  - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
  - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
  - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

## 第2章 施工条件

### 第2節 建設副産物

- 1 **建設発生土（搬出）**（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地、又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地、又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地、又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

- 2 **産業廃棄物の場外保管**

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

- 3 **産業廃棄物（搬出）**

受注者は、流木等を現場外搬出する場合は、産業廃棄物処理計画書を提出し監督員の承諾を得た後に処理しなければならない。

産業廃棄物処理計画書には、次の関係書類を添付しなければならない。

産業廃棄物処理委託契約書（写）

処理業者の許可証（写）

また、受注者は平均的な大きさの流木の直径、長さを撮影し、施工管理資料として提出しなければならない。

### 第3節 その他

- 1 **工所用機資材の仮置き**

受注者が責任を持って確保すること。

## 2 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要にする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

## 3 法定外の労災保険の付保

- (1) 受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約（以下「法定外の労災保険」という。）を付保しなければならない。
- (2) 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるものを速やかに監督員に提示しなければならない。
- (3) 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

## 第3章 施工・管理

### 第1節 堤体工

#### 1 雑物の除去

掘削をする時は、堤敷内の腐植土、草木根等の有機物質及び風化転石泥土等、基礎として不適当なもの並びに池水の浸透を誘導する雑物は、完全に除去しなければならない。

#### 2 表土はぎ取り

- 1) 表土のはぎ取りは、原則として全面にわたり同時に施工するものとする。盛土の進捗に応じて表土をはぎ取る場合には、表土と盛土を混合しないようにしなければならない。
- 2) 表土のはぎ取り厚さは、別に指示しない限り30cm以上とする。
- 3) はぎ取り後、降雨あるいはそのおそれのある場合は、土砂の流出を起こさないよう全面にシートを覆い、水たまりのできないようにしなければならない。

#### 3 床掘及び袖掘

- 1) 床掘及び袖掘は、設計図書に示す深さまで掘り下げ、掘削完了後は、発注者の検査を受けなければならない。ただし、所定の深さ以前に良質堅固な不透水層に遭遇した場合は、発注者の指示を受けなければならない。
- 2) 床掘及び袖掘は原則として火薬使用を避け、基盤の弛緩を防止し、やむを得ずこれを使用する必要がある時は、発注者の指示を受けなければならない。

#### 4 基盤面の仕上げ

基盤と築堤土との接触を密にし、漏水をなくするため基盤面を入念に整形清掃しなければならない。

#### 5 旧堤の切取り

旧堤の切取りは段切りを原則とする。

#### 6 過掘の処置

過掘の処置については、発注者の指示によるものとし、これに要する費用は受注者の負担とする。

- 7 掘削土の流用  
掘削土を流用し施工する場合は不良土等が混入しないようにしなければならない。
- 8 掘削法面の保護工  
掘削法面の保護工は十分工程計画を検討し、風化、変質が生じないようにしなければならない。
- 9 用土  
1) 用土は、それぞれ設計図に示された位置区分に使用しなければならない。  
2) 用土は所定の密度が得られる含水比のものを用い、過湿又は、乾燥したものをを使用する場合は適切な方法で含水比の調整を図らなければならない。  
3) 用土が降雨に濡れたときは、一時他に搬出して乾燥し、発注者の承諾を得た後でなければ使用してはならない。  
4) 用土が良質な土質であっても凍結しているものは、使用してはならない。  
5) 降雪又は積雪がある場合は、発注者の指示を受けなければならない。
- 10 用土の掘削  
用土掘削は、1日計画盛土量程度とし、降雨降雪その他の事由により残土が生じた場合は覆いなどを行い過湿、乾燥土とならないよう処置しなければならない。
- 11 用土のまき出し、転圧  
1) 用土のまき出し及び転圧は、必ず堤体の縦断方向に施工するものとし、横断方向に層状にならないよう注意しなければならない。  
2) まき出した土は、その日のうちに締め固めを完了する事を原則とする。  
3) 床掘部の盛土には、基礎及び刃金土の接触を密にし湧水のある時は、発注者の指示に従い処理し、施工しなければならない。  
4) 地山及び既成盛土との接触面は、特に入念に締め固めなければならない。  
5) 地山又は、既成盛土との接触面及び地形形状タイヤローラーの使用が不可能な箇所の転圧に際しては、地山との密着及び既成盛土との均一化について特に留意し、タンパー、振動コンパクタ、振動ローラー等によって入念に締め固めをしなければならない。  
6) 転圧作業にあたり、ローラーの転圧幅は、少なくとも30cm以上重複させなければならない。  
7) 転圧作業にあたり、再び盛土を施工する場合は、表層を切りゆるめた後続行するものとする。なお、標準的まき出し厚、仕上がり厚、転圧回数を次に示す。

盛土の種類	使用機械	締め固め速度	まき出し厚	仕上がり厚	転圧回数
遮水性材料	タイヤローラー	3、500m/h	20 cm	13 cm	10 回
ランダム材料	〃	〃	30	22	8
遮水性材料	振動ローラー	1,000	20	13	8
ランダム材料	〃	〃	30	22	4
遮水性材料	タンパ60~100kg	550	10	7	8
ランダム材料	〃	〃	20	14	4

※ 遮水性材料（刃金土） ランダム材（さや土）

- 8) 仕上がり厚、転厚回数の決定については、監督員と協議し決定するものとする。又変更の対象となる。
- 9) 法面部の盛土については、規定以上の寸法の広さまでまき出し、十分締め固めを行い、はみ出した部分は盛土完了後に切りとって、丁寧に土羽打ちをして仕上げるものとする。

- 10) 霜柱や凍結した表土は、必ず除去して転圧するものとする。
- 11) 盛土の施工中において、用土の不適、もしくは転圧の不十分、又は受注者の不注意によって湧水又は、盛土法面の崩壊があった場合には、その部分及びこれに関連する部分の盛土について再施工を命ずることがある。
- 12) コンクリート壁が刃金土と接する場合、原則としてその部分には施工継手を設けないものとする。
- 13) 築堤現場は常に排水を十分にし、雨水等が盛土部分に残留しないよう緩勾配となるよう仕上げなければならない。

## 12 余盛

前、後法肩については法面に雨水等の直接流れ込み防止をするように考慮しなければならない。

## 第2節 付帯構造物

### 1 樋管工

- 1) 底樋管巻立コンクリート及び止水壁周辺部の盛土は、特に入念に締固めなければならない。また、締固め機械によって底樋管等に損傷を与えないよう十分注意しなければならない。
  - 2) 底樋管上の盛土の転圧にあたり巻立コンクリートの天端から60cmまでは重機械を使用してはならない。
  - 3) ボックスとの接合部で漏水が起きないように細心の注意をしなければならない。
- 2 製作に使用する全ての材料は、十分水圧に耐える強度を有し、各種形状寸法は、正確に図面に適合したものでなければならない。
- 1) 受注者は製作に先立ち、本仕様書及び設計図書に基づき、承認図を提出し、発注者の承認を得るものとする。
  - 2) 製作に使用する全ての材料は、十分水圧に耐える強度を有し、各種形状寸法は、正確に図面に適合したものでなければならない。
  - 3) 鋳鋼、鋳鉄、砲金等の鋳造品は十分な押湯をし、表面平滑であって鋳房、気泡、その他 鋳造上の欠点のないものでなければならない。

## 第3節 施工管理

- 1 盛土の施工にあたっては、施工管理試験を行って、所要の締固め度や透水係数が得られるよう管理しなければならない。
- 2 含水比 最適含水比 $\pm 5.0\%$   
前記の試験の結果、管理基準値（許容値）に達しない場合は、発注者の指示に従うものとする。

## 第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

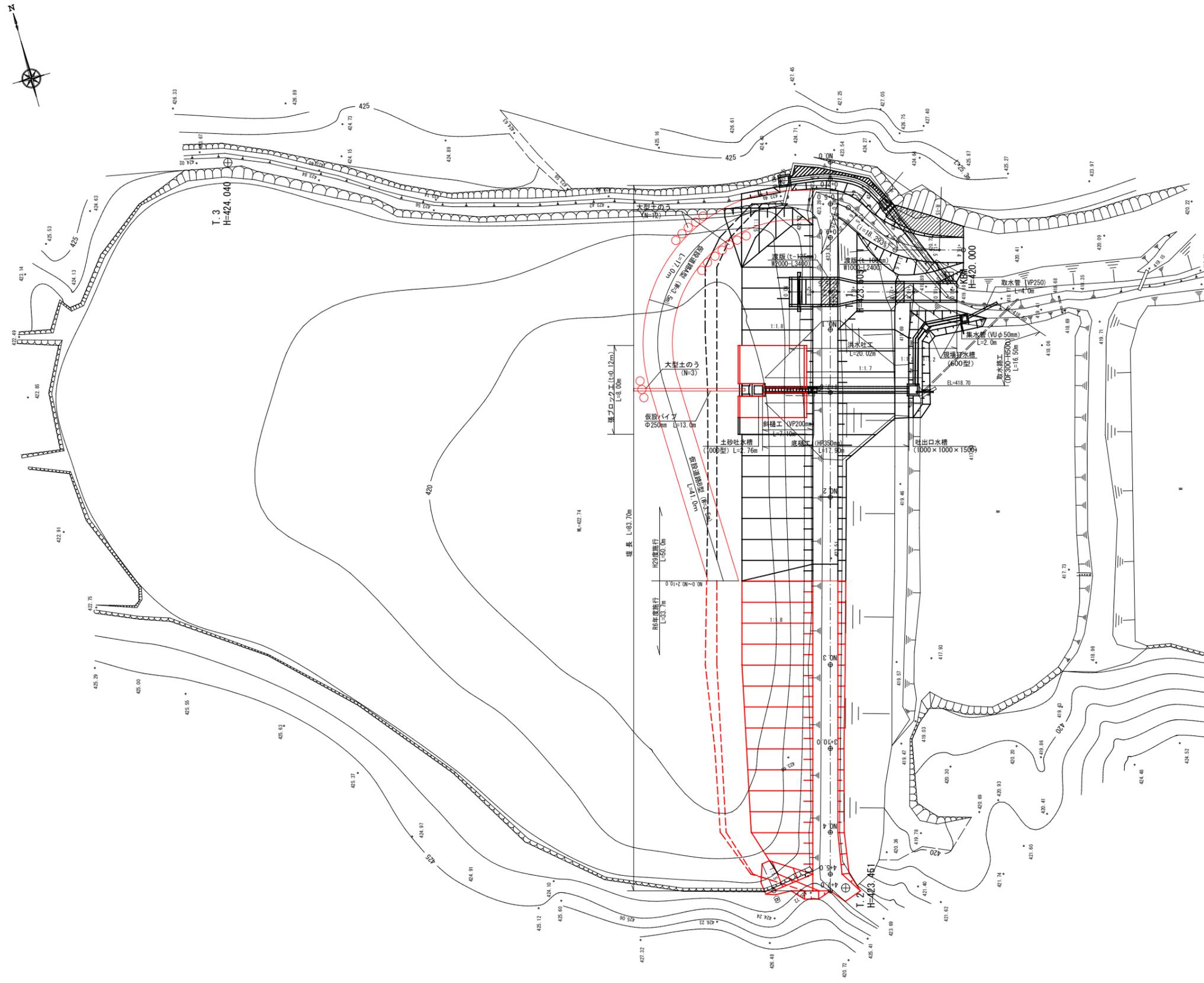
# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	備 考
本工事費					
大番大池		式		1	レベル1
堤体工		式		1	レベル2
土 工		式		1	レベル3
土砂 (堤体) 掘削	【粘質土】	m3		751	レベル4
堤体盛土		式		1	レベル3
ランダム	【流用土 (ランダム材)】	m3		315	レベル4
購入土盛土		式		1	レベル3
遮水性ゾーン	【購入土(コア材)】	m3		471	レベル4
法面整形工		式		1	レベル3
法面整形 (盛土部)	【粘質土】	m2		398	レベル4
作業残土処理工		式		1	レベル3
作業残土処理	【粘質土】	式		1	レベル4
法面植生工		式		1	レベル3
張芝	【人工芝】	m2		68	レベル4
侵食防止工		式		1	レベル3
作業土工	【粘質土】	m3		1	レベル4
張ブロック工	【1000×1000×120】	m2		67	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	備 考
仮設工		式		1	レベル2
仮設道路工		式		1	レベル3
仮設道路	【W=3.5m】	式		1	レベル4
仮設排水工	【波状管Φ200mm】	式		1	レベル4
直接工事費					
共通仮設費率分額					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
**工事価格計**					
**消費税相当額計**					
**請負工事費計**					

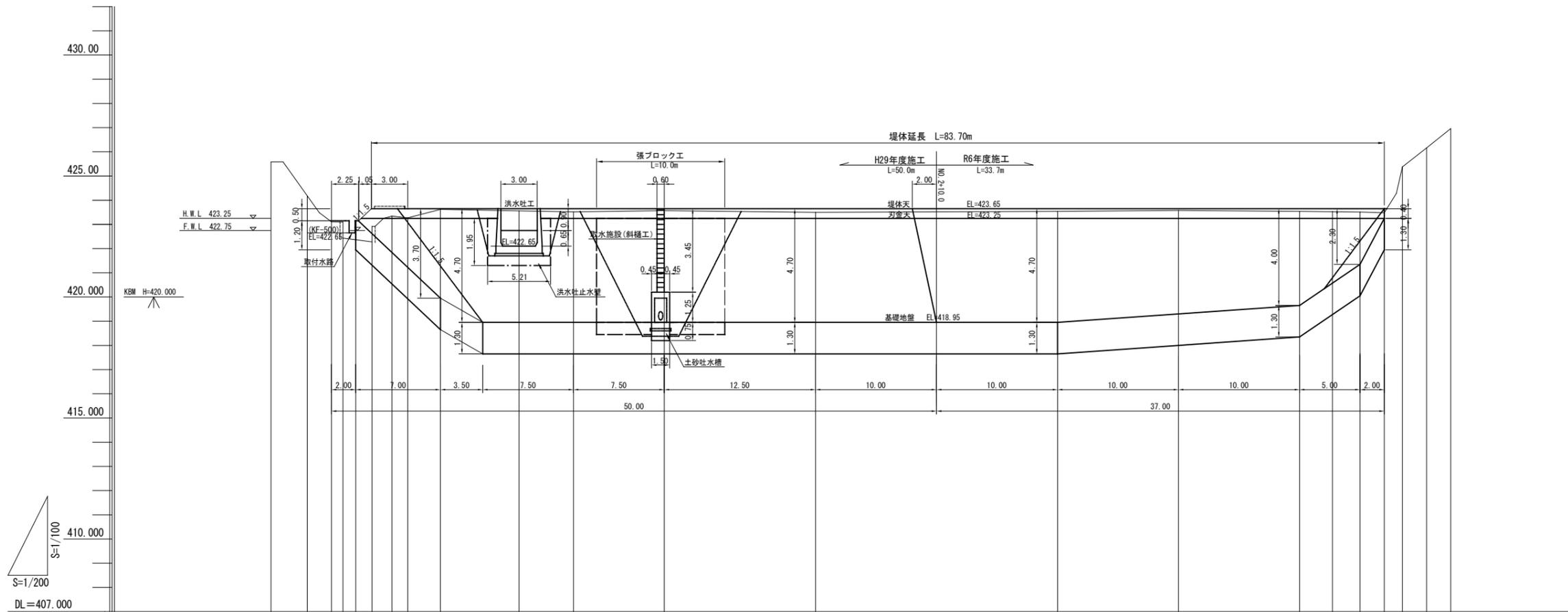
計画平面図  
S=1:250



工事名	老朽ため池補強事業 三原市久井町 大番大池改良工事		
図面名	計画平面図		
年月日	平成 29年 月 日		
尺度	図面番号	1	
会社名	広島県土地改良事業団体連合会		
事務所名	三原市		

# 縦断面図

H=1:100  
L=1:200

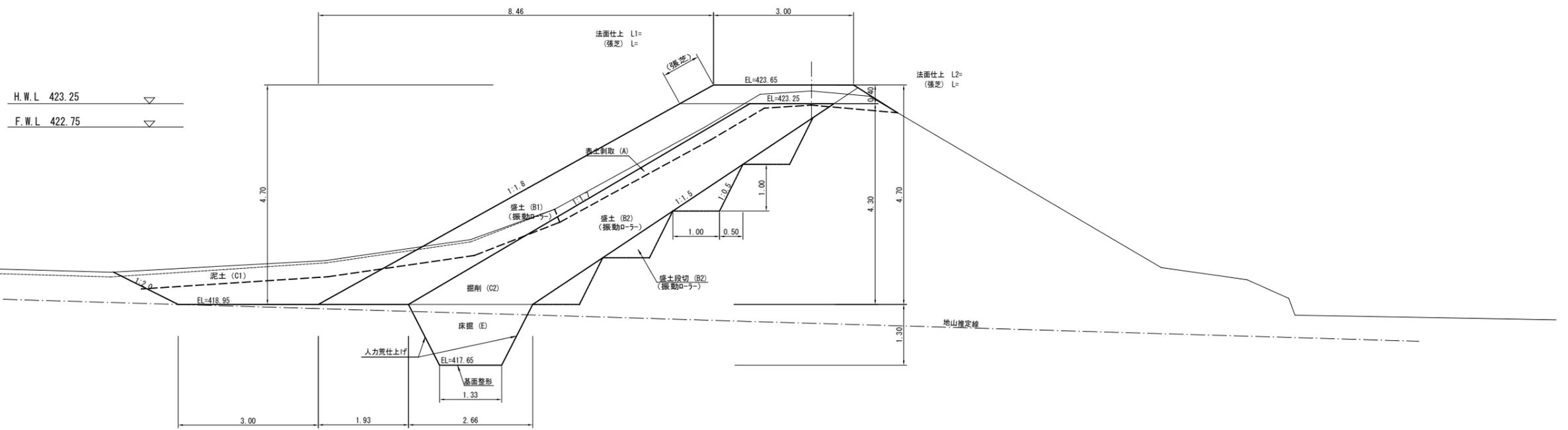


勾配	LEVEL L=42.00m																	
切盛高																		
計画高																		
地盤高																		
追加距離																		
単距離																		
測点																		
曲線																		

工事名	老朽ため池補強事業 三原市久井町 大番大池改良工事	
図面名	堤体縦断面図	
年月日	平成 29年 月 日	
尺度	図面番号	2
会社名	広島県土地改良事業団体連合会	
事務所名	三原市	

# 標準断面図

S=1:50



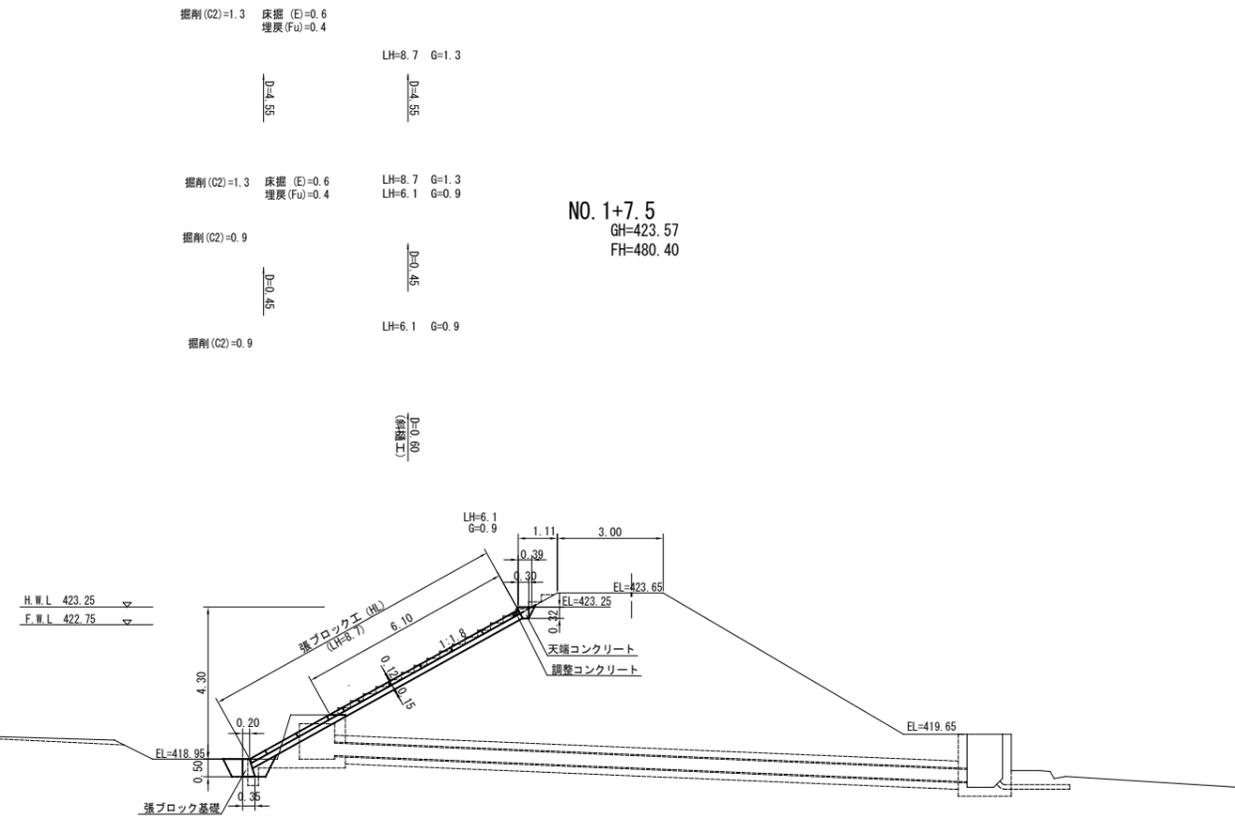
DL=415.00

- 表土 = (A)
- 泥土 = (C1)
- 掘削 = (C2) (C3)
- 床掘 = (E)
- 増戻 = (F4)
- 盛土 = (B1) 抱土 (振動ローラー)
- 盛土 = (B2) 鋼土 (振動ローラー)
- 盛土 = (B3) サヤ土 (振動ローラー)
- 盛土 = (B4) サヤ土 (90°)
- 盛土 = (B5) 鋼土 (90°)

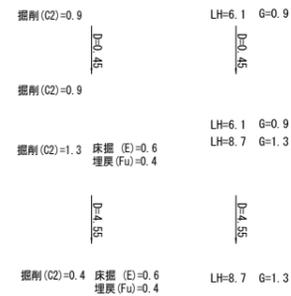
工事名	老朽ため池補強事業 三原市久井町 大番大池改良工事		
図面名	標準断面図		
年月日	平成 29年 月 日		
尺度	図面番号	3	
会社名	広島県土地改良事業団体連合会		
事務所名	三原市		

計画横断面図

S=1:100

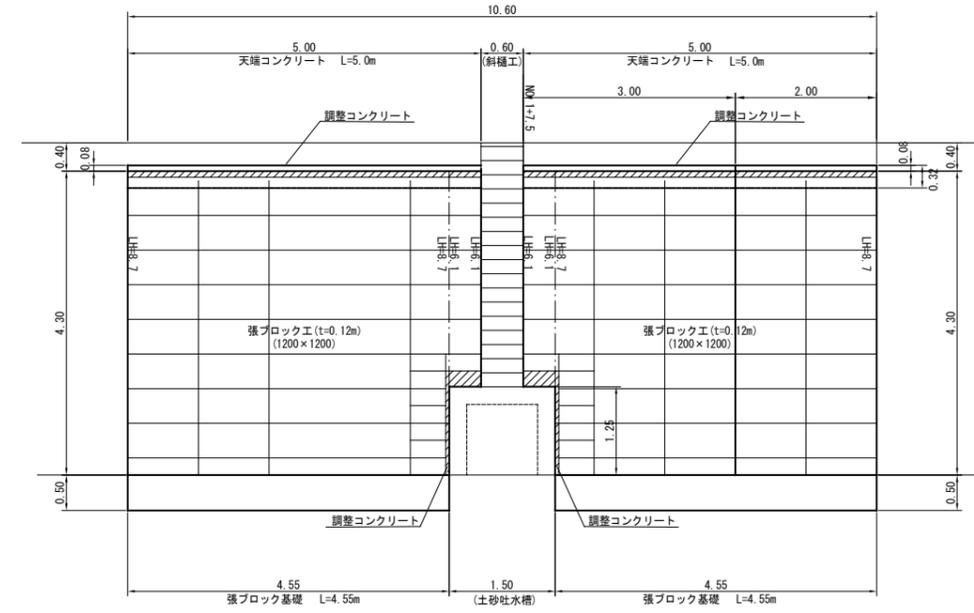


掘削 (C2)=  
床掘 (E)=  
埋戻 (Fu)=



展開図

S=1:50

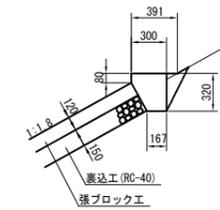
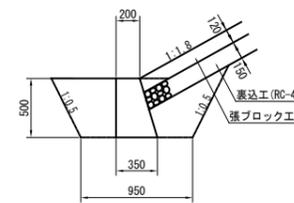


構造図

S=1:30

(張ブロック基礎)

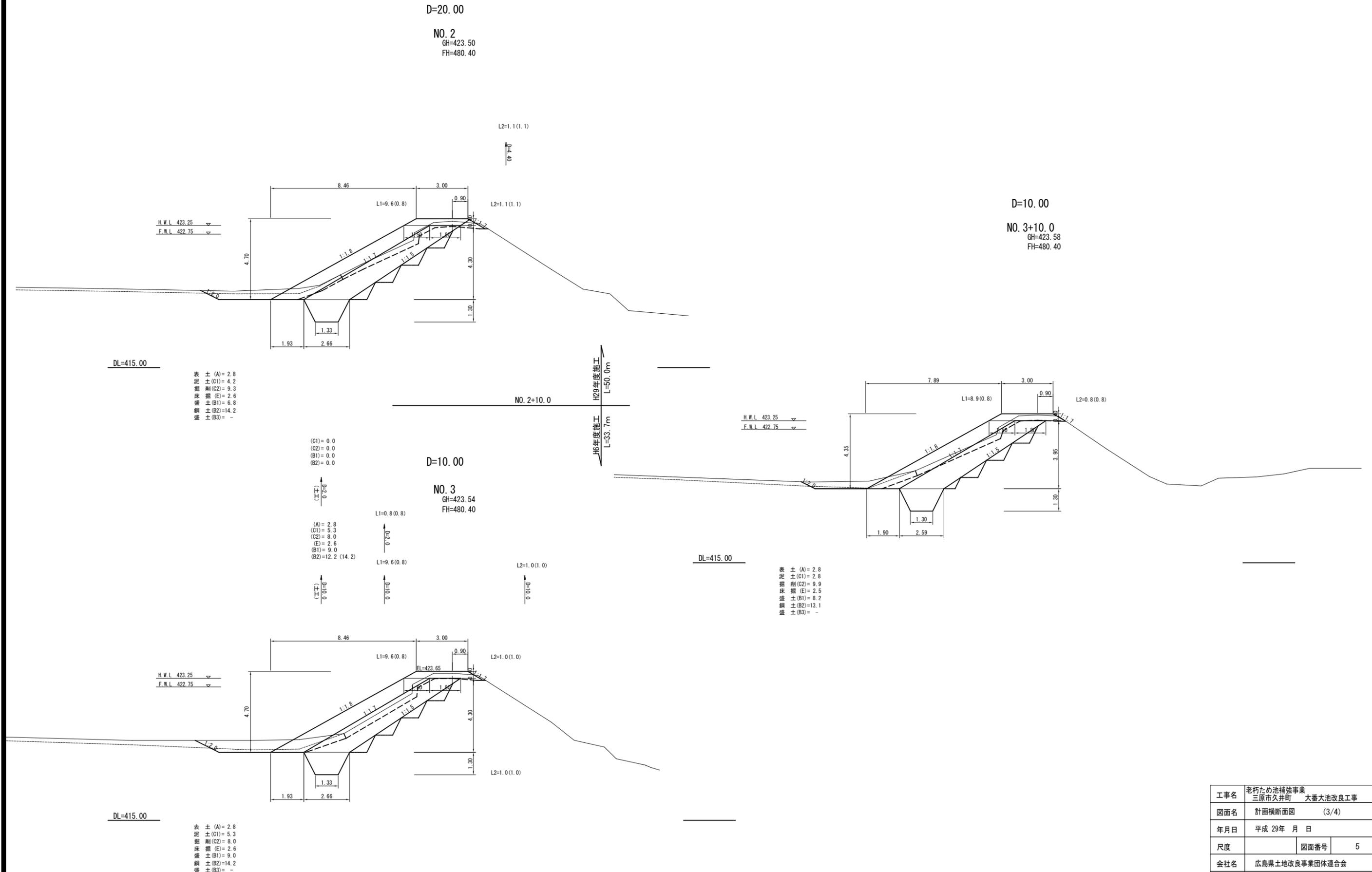
(天端コンクリート)



工事名	老朽ため池補強事業 三原市久井町 大番大池改良工事		
図面名	張ブロック工計画図		
年月日	平成 29年 月 日		
尺度	図面番号	4	
会社名	広島県土地改良事業団体連合会		
事務所名	三原市		

計画横断面図

S=1:100



D=20.00

NO. 2  
GH=423.50  
FH=480.40

D=10.00

NO. 3+10.0  
GH=423.58  
FH=480.40

D=10.00

NO. 3  
GH=423.54  
FH=480.40

DL=415.00

DL=415.00

DL=415.00

- 表土 (A) = 2.8
- 泥層 (C1) = 4.2
- 掘削 (C2) = 9.3
- 床掘 (E) = 2.6
- 盛土 (B1) = 6.8
- 盛土 (B2) = 14.2
- 盛土 (B3) = -

- (C1) = 0.0
- (C2) = 0.0
- (B1) = 0.0
- (B2) = 0.0

- (A) = 2.8
- (C1) = 5.3
- (C2) = 8.0
- (E) = 2.6
- (B1) = 9.0
- (B2) = 12.2 (14.2)

- 表土 (A) = 2.8
- 泥層 (C1) = 2.8
- 掘削 (C2) = 9.9
- 床掘 (E) = 2.5
- 盛土 (B1) = 8.2
- 盛土 (B2) = 13.1
- 盛土 (B3) = -

- 表土 (A) = 2.8
- 泥層 (C1) = 5.3
- 掘削 (C2) = 8.0
- 床掘 (E) = 2.6
- 盛土 (B1) = 9.0
- 盛土 (B2) = 14.2
- 盛土 (B3) = -

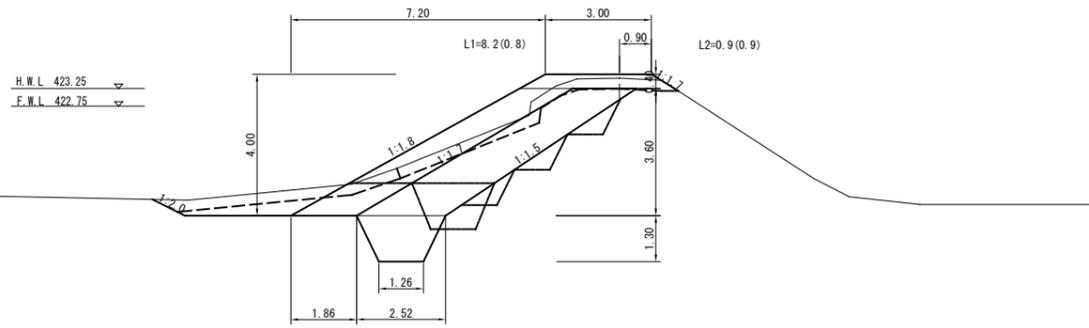
工事名	老朽ため池補強事業 三原市久井町 大番大池改良工事		
図面名	計画横断面図 (3/4)		
年月日	平成 29年 月 日		
尺度	図面番号	5	
会社名	広島県土地改良事業団体連合会		
事務所名	三原市		

計画横断面図

S=1:100

D=5.00

NO. 4  
GH=423.54  
FH=480.40



DL=415.00

表土 (A) = 2.5  
泥土 (C1) = 2.1  
掘削 (C2) = 11.4  
床掘 (E) = 2.5  
盛土 (B1) = 7.6  
鋼土 (B2) = 11.7  
盛土 (B3) = -

(E) 1:1.5

(C1) 1:1.5

L1=6.3(0.8)

(A) = 2.5  
(C1) = 1.5  
(C2) = 6.3  
(E) = 2.3  
(B1) = 5.9  
(B2) = 8.9

D=2.00

NO. 4+5.0  
GH=423.51  
FH=480.40

L1=0.8(0.8)

(E) 1:1.5

(C1) 1:1.5

DL=415.00

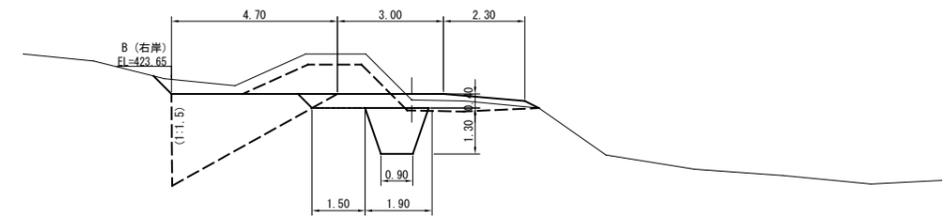
H.W.L. 423.25  
F.W.L. 422.75

表土 (A) = 3.2  
泥土 (C1) = -  
掘削 (C2) = 1.0  
床掘 (E) = 1.8  
盛土 (B1) = 2.4  
鋼土 (B2) = 1.8  
盛土 (B3) = -

(A) = 0.5  
(C2) = 0.0  
(B1) = 0.5

D=0.00

NO. 4+7.0  
GH=423.48  
FH=480.40



(E) 1:1.5

(A) = 0.5  
(C2) = 0.0  
(B1) = 0.5

H.W.L. 423.25  
F.W.L. 422.75

DL=415.00

表土 (A) = 2.1  
泥土 (C1) = 1.5  
掘削 (C2) = 8.2  
床掘 (E) = 2.1  
盛土 (B1) = 4.9  
鋼土 (B2) = 6.8  
盛土 (B3) = -

(E) 1:1.5

(C1) 1:1.5

L1=0.0(0.0)

D=2.00

NO. 4+5.0  
GH=423.51  
FH=480.40

L1=0.8(0.8)

L2=0.0(0.0)

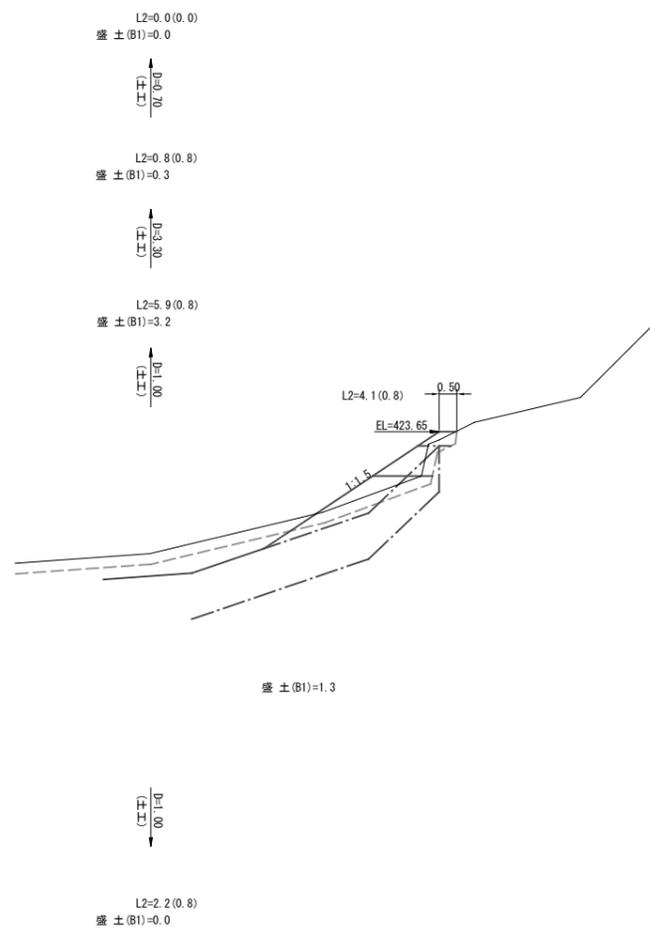
工事名	老朽ため池補強事業 三原市久井町 大番大池改良工事		
図面名	計画横断面図 (4/4)		
年月日	平成 29年 月 日		
尺度	図面番号	6	
会社名	広島県土地改良事業団体連合会		
事務所名	三原市		

参 考 資 料  
～ 大番大池改良工事 ～

# 護岸横断面図

S=1:100

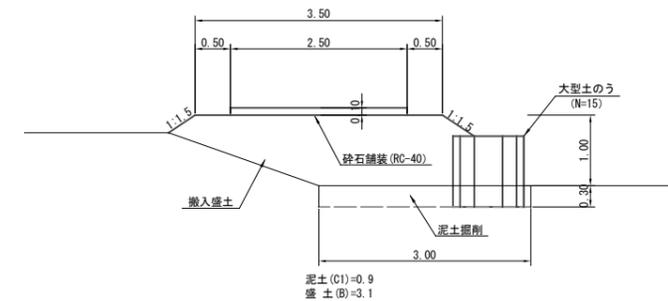
B (右岸)  
GH=423.42  
FH=423.65



# 仮設工

仮設道路  
S=1:50

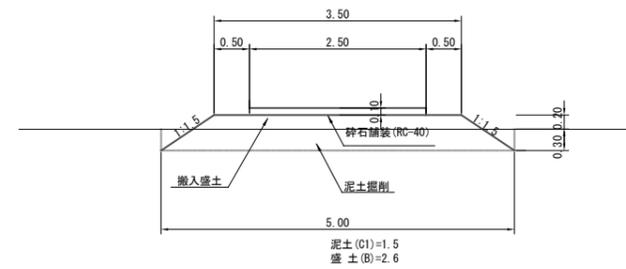
(A箇所)



10m当り

名称	規格	数量	単位
粘土掘削	粘性土	9.0	m <sup>3</sup>
搬入盛土	砂質土	31.0	m <sup>3</sup>
砕石舗装	RC-40	25.0	m <sup>2</sup>

(A箇所)



10m当り

名称	規格	数量	単位
粘土掘削	粘性土	15.0	m <sup>3</sup>
搬入盛土	砂質土	26.0	m <sup>3</sup>
砕石舗装	RC-40	25.0	m <sup>2</sup>

工事名	老朽ため池補強事業 三原市久井町 大番大池改良工事		
図面名	護岸横断面図 構造物取壊		
年月日	平成 29年 月 日		
尺度	図面番号	7	
会社名	広島県土地改良事業団体連合会		
事務所名	三原市		

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 68 三原市(久井) 00-06.07.01(0)  9 公共(011015~)		
	当世代	前世代	
諸経費工種 工事費端数区分 週休補正区分 施工地域・工事場所区分 契約保証費区分 前払支出割合区分 軽油区分 復興補正区分 ICT補正区分	21 ため池工事 01 千円未満切捨 03 4週8休以上 05 中山間地域 01 金銭的保証(0.04%) 00 補正なし 00 一般軽油使用 00 補正なし 00 補正なし		

# 本工事費

# 内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										
大番大池									レベル1	
堤体工	1			式					レベル2	
土工	1			式					レベル3	
土砂(堤体)掘削 【粘質土】	1			式					レベル4	
	751			m3						
掘削(表土) 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	107			m3					00	単第 0 -0001号表
掘削(泥土) 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	209			m3					00	単第 0 -0002号表
掘削 土砂 片切掘削	341			m3					00	単第 0 -0003号表
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 無し 障害無し	94			m3					00	単第 0 -0004号表

# 本工事費

# 内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
堤体盛土									レベル3	
ランダム 【流用土(ランダム材)】	1			式					レベル4	
堤体盛土(ランダム材) 振動ローラ(3.0~4.0t級) 仕上厚 22cm 転圧回数 4回	315			m3					00	
購入土盛土	315			m3					単第 0 -0005号表	
購入土盛土	1			式					レベル3	
遮水性ゾーン 【購入土(コア材)】									レベル4	
堤体盛土(コア材) 振動ローラ(3.0~4.0t級) 仕上厚 13cm 転圧回数 8回	471			m3					00	
搬入土(コア材) 工場渡し 運搬(10t車) L=14.6km	471			m3					単第 0 -0009号表	
搬入土(コア材) 工場渡し 運搬(10t車) L=14.6km	628			m3					00	
法面整形工									単第 0 -0011号表	
法面整形工	1			式					レベル3	
法面整形(盛土部) 【粘質土】									レベル4	
	398			m2						

# 本工事費

# 内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
法面整形 盛土部 法面締固め無し 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	398	m2			00 単第 0 -0013号表
作業残土処理工	1	式			レベル3
作業残土処理 【粘質土】	585	m3			レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離1.0km以下(0.5km超)	376	m3			00 単第 0 -0014号表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離1.0km以下(0.5km超)	209	m3			00 単第 0 -0014号表
処分費対象額調整(直接工事費計上分) 「処分費等」の取扱いによる					
残土処分(土砂) 受入費	376	m3			00
残土処分(泥土) 受入費	209	m3			00
法面植生工	1	式			レベル3

# 本工事費

# 内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
張芝 【人工芝】									レベル4	
芝付工 全面張 人工芝（幅 100cm程度）	68		m	2					00	
侵食防止工	68		m	2					単第 0 -0015号表	
作業土工 【粘質土】	1		式						レベル4	
機械併用埋戻（一般）	1		m	3					00	
張ブロック工 【1000×1000×120】	1		m	3					単第 0 -0016号表	
平ブロック張 ブロックの質量150kg/個未満 平ブロック控120mm_170kg/m2以上	67		m	2					00	
裏込工(ブロック張) ブロック張り 再生クラッシャーラン（RC-40）	67		m	2					単第 0 -0019号表	
張ブロック基礎 T200～350-H500 土工含む	10		m	3					00	
	7.1		m						単第 0 -0020号表	
									00	
									単第 0 -0021号表	



# 本工事費

# 内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
大型土のう撤去 作業半径 6m以下	15	袋			00 単第 0 -0033号表
仮設道路掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	174	m3			00 単第 0 -0035号表
仮設排水工 【波状管 200mm】	1	式			レベル4
水替工(小口径)ポンプ設置・撤去工	1	箇所			00 単第 0 -0036号表
ポンプ運転	6	日			00 単第 0 -0037号表
仮設パイプ 据付・撤去 波状管及び網状管 200～400mm シングル 合成樹脂排水材 呼び径250mm	10.0	m			00 単第 0 -0039号表
直接工事費					
共通仮設費率 分額					
共通仮設費計					

# 本工事費

# 内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費						
現場管理費						
工事原価						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
** 工事価格計 **						
** 消費税相当額計 **						
** 請負工事費計 **						

# 施工単価表

掘削(表土)

SPK23040001

単第 0 -0001号表

土砂 オープンカット 押土無し

障害無し 5,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 45.14% 労務構成比:

34.64%

材料構成比: 20.22%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

317.6600

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	45.14%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	34.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	20.22%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

# 施工単価表

掘削(泥土)

土砂 オープンカット 押土無し

機械構成比: 45.14% 労務構成比:

SPK23040001

障害無し 5,000m3未満

34.64% 材料構成比: 20.22%

単第 0 -0002号表

1

m3 当り

標準単価: 317.6600

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	45.14%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	34.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	20.22%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

# 施工単価表

掘削  
土砂 片切掘削

SPK23040001

単第 0 -0003号表

1

m3 当り

機械構成比: 10.59% 労務構成比: 83.71% 材料構成比: 5.70% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,176.7000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	10.59%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
普通作業員	73.93%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	9.78%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.70%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=2 片切掘削		

# 施工単価表

床掘り  
土砂 平均施工幅1m以上2m未満

SPK23040015

単第 0 -0004号表

無し 障害無し

1

m3 当り

機械構成比: 21.49% 労務構成比:

63.32%

材料構成比: 15.19%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

266.5600

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	21.49%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
運転手(特殊)	63.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.19%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 無し E=1 -(全ての費用)			B=2 平均施工幅1m以上2m未満 D=1 障害無し		



# 施工単価表

積込(ルーズ)

SPK23040007

単第 0 -0006号表

土砂

土量50,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 44.49%

労務構成比:

35.67%

材料構成比: 19.84%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

229.0500

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	44.49%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3)		MTPC00153 MTPT00153
運転手(特殊)	35.67%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	19.84%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=1 土量50,000m3未満		

# 施工単価表

整地  
敷均し(ルーズ)

SPK23040003

単第 0 -0007号表

標準(10,000m3未満) 障害無し

1

m3 当り

機械構成比: 23.64% 労務構成比:

48.23% 材料構成比: 28.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

122.2600

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	23.64%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	48.23%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	28.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 敷均し(ルーズ) C=1 障害無し			B=1 標準(10,000m3未満)		

# 施工単価表

ため池工事締固（振動ローラ）  
 搭乗式コンバインド型 3.0～4.0t級

仕上厚0.22m 締固め4回

単第 0 -0008号表

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.40	日			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.80	L			3.7*4
運転手(特殊)	1.00	人			
諸雑費	1	式			
1 m3当り		m3			
**単位当り**	1	m3			
A=2 搭乗式コンバインド型 3.0～4.0t級 C=0.22 仕上り厚さ(m) E=900 締め固速度(m/h)			B=4 締固め回数(回) D=0.4 作業効率 F=1.4 運転日当り賃料日数(搭乗式コンバインド型)		



# 施工単価表

ため池工事締固（振動ローラ）  
 搭乗式コンバインド型 3.0～4.0t級

仕上厚0.13m 締固め8回

単第 0 -0010号表

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.40	日			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	14.80	L			3.7*4
運転手(特殊)	1.00	人			
諸雑費	1	式			
1 m3当り		m3			
**単位当り**	1	m3			
A=2 搭乗式コンバインド型 3.0～4.0t級 C=0.13 仕上り厚さ(m) E=900 締め固速度(m/h)			B=8 締固め回数(回) D=0.4 作業効率 F=1.4 運転日当り賃料日数(搭乗式コンバインド型)		



# 施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第 0 -0012号表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離15.5km以下(11.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 46.25% 労務構成比:

38.07% 材料構成比: 15.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,106.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.07%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	15.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=39 距離15.5km以下(11.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

# 施工単価表

法面整形

SPK23040025

単第 0 -0013号表

盛土部 法面締固め無し 現場制約無し

レキ質土,砂及び砂質土,粘性土

1

m2 当り

機械構成比: 13.14% 労務構成比:

73.38% 材料構成比: 13.48%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

409.7800

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	13.14%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	32.67%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	27.78%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	12.93%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.48%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 盛土部 C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)			B=2 法面締固め無し D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土		

# 施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第 0 -0014号表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離1.0km以下(0.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 46.25% 労務構成比:

38.07% 材料構成比: 15.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

471.0800

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.07%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	15.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=4 距離1.0km以下(0.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		





# 施工単価表

機械投入 (バックホウ)

SPK23040007

単第 0 -0017号表

土砂

平均施工幅1m以上2m未満

1

m3 当り

機械構成比: 29.72% 労務構成比:

56.19% 材料構成比: 14.09%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

281.4600

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3	29.72%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3		MTPC00010 MTPT00010
運転手(特殊)	56.19%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.09%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=3 平均施工幅1m以上2m未満		



# 施工単価表

頁0 -0027

平ブロック張  
ブロックの質量150kg/個未満

SPK23040039

単第 0 -0019号表

平ブロック控120mm\_170kg/m2以上

1

m2 当り

機械構成比: 3.55% 労務構成比:

31.82% 材料構成比: 64.63%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

7,527.9000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.55%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	14.81%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	6.72%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	3.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	3.41%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
張りブロック 質量170kg/m2以上,厚120mm	60.86%		平ブロック 厚さ100mm		TTPCD0492 TTPT00257
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.77%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001







# 施工単価表

コンクリート

SPK23040154

単第 0 -0022号表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

44.86%

材料構成比:

55.14%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

29,616.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	24.24%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	8.67%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.14%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

# 施工単価表

型枠

SPK23040156

単第 0 -0023号表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,042.9000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		



# 施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.161	人			1*0.161
特殊作業員	0.161	人			1*0.161
普通作業員	0.161	人			1*0.161
耐候性大型土のう(2.0t用) 丸型,径110cm×長110cm 短期仮設対応(1年),令和5年改定基準適合品	10.000	枚			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.161	日			単第 0-0026号表
諸雑費	7	%			
***合計***	10	袋			
**単位当り**	1	袋			
A=4 耐候性(短期)大型土のう(R5改定基準適合品)			B=1	土砂の計上なし	







# 施工単価表

路体(築堤)盛土・埋戻  
 施工幅員2.5m以上4.0m未満

SPKN2304004

単第 0 -0029号表

機械構成比: 16.95% 労務構成比: 73.89% 材料構成比: 9.16% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m3 当り 774.1500

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	8.87%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	8.08%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	65.25%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.16%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m以上4.0m未満					



# 施工単価表

砂利舗装工  
敷均し幅2.0m以上2.5m未満

小型バックホウ敷均し 敷均し

単第 0 -0031号表

100

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.22	人			
普通作業員	0.69	人			
再生クラッシュラン 40~0mm	11.60	m3			
小型バックホウ運転 加圧型[標準型] 山積0.13m3 (平積0.1m3) 排出ガス対策型2次基準	0.40	日			単第 0-0032号表
諸雑費	1	式			
***合計***	100	m2			
**単位当り**	1	m2			
A=2 敷均し幅2.0m以上2.5m未満 C=1 敷均し E=3 再生クラッシュ R C - 40 G=2 舗設材単価 0 円区分：なし			B=2 小型バックホウ敷均し D=1 舗装面仕上げ無し F=10 敷砂利仕上がり厚さ(cm) H=0 敷材単価(円)(G = 2の時)		







# 施工単価表

仮設道路掘削

SPK23040001

単第 0 -0035号表

土砂 オープンカット 押土無し

障害無し 5,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 45.14% 労務構成比:

34.64%

材料構成比: 20.22%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

317.6600

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	45.14%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	34.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	20.22%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		







# 施工単価表

仮設パイプ

SPK23040092

単第 0 -0039号表

据付・撤去 波状管及び網状管 200～400mm

シングル 合成樹脂排水材 呼び径250mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 10.45%

材料構成比: 89.55%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,699.7000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	7.23%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.22%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
合成樹脂排水材(高密度ポリエチレン管) <シングル構造>内面波状管(有孔・無孔) 呼び径250mm	89.55%		暗渠排水管 波状管 呼び径300mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造)		TTPCD0272 TTPT00191
積算単価			積算単価		E9999
A=3 据付・撤去 C=2 200～400mm F=2 継手材料費不要 H=0 現場の状況による材料損料率の率乗算			B=2 波状管及び網状管 D=34 シングル 合成樹脂排水材 呼び径250mm G=3 期間3～6ヶ月未満(損料率0.3) I=1 -(全ての費用)		
<b>【管材料単価】</b>					
管材料単価(円) * ( 材料損料率 + ( 材料損料率 * 現場状況による材料損料率の率乗算 ) )					

数量 総括 内訳 表				
工種・種別・細別	規格	単位	数量	摘要
<b>堤体工</b>				
<b>【土工】</b>				
<b>【掘削工】</b>				
表土剥取	バックホウ 0.60m <sup>3</sup>	m3	106.5	堤体工
泥土掘削	バックホウ 0.60m <sup>3</sup>	m3	208.6	堤体工+仮設道路 131.8+76.8
掘削	流用土 バックホウ 0.60m <sup>3</sup>	m3	340.7	堤体工+張ブロック 335.9+4.8
床掘	流用土 バックホウ 0.45m <sup>3</sup>	m3	93.9	堤体工+張ブロック 92.1+1.8
堤体盛土(ランダム材1)	振動ローラ 仕上厚 22cm 転圧回数 4回	m3	314.7	堤体工(B1+B3)
埋戻	機械併用 バックホウ 0.45m <sup>3</sup>	m3	1.2	張ブロック
<b>【盛土工】</b>				
堤体盛土(コア材)	振動ローラ 仕上厚 13cm 転圧回数 8回	m3	470.9	堤体工(B2)
搬入土	購入土 コア材 L=14.6km	m3	627.9	土量配分表より
<b>【残土処理工】</b>				
ダンプトラック運搬	10トン車 L=0.7km 土砂 残土処理	m3	376.4	表土+堤体土砂+仮設道路 106.5+83.6+186.3
ダンプトラック運搬	10トン車 L=0.7km 土砂(泥土)残土処理	m3	208.6	堤体工+仮設道路 131.8+76.8
<b>【法面整形工】</b>				
盛土法面整形	バックホウによる削取整形	m2	397.7	表側+裏側+張ブロック 331.5+33.8+32.4
<b>【法面工】</b>				
張芝	人工芝 幅 1.0m	m2	67.6	表側+裏側 33.8+33.8
<b>【ドレーン工】</b>				
張ブロック工	標準型 1000-1000-120	m2	67.2	
裏込碎石	(厚 0.15m) RC-40	m3	10.0	



# 土 工 配 分 表

掘 削		盛 土・埋 戻	
堤体	掘削	C2	振動ローラ
	床掘	E1	B1
	床掘	E	B3
張コン	掘削	C2	振動ローラ
	床掘	E	B3
ドレーン	掘削	C2	振動ローラ
	床掘	E2	B3
底樋工	掘削	C2	振動ローラ
	床掘	E	B3
洪水吐	掘削	C	振動ローラ
	床掘	E	B3
	計		
			314.7

堤体	掘削	C2	振動ローラ	335.9	m <sup>3</sup>
	床掘	E1	B1	92.1	m <sup>3</sup>
	床掘	E	B3		m <sup>3</sup>
張コン	掘削	C2	振動ローラ	4.8	m <sup>3</sup>
	床掘	E	B3	1.8	m <sup>3</sup>
ドレーン	掘削	C2	振動ローラ		m <sup>3</sup>
	床掘	E2	B3		m <sup>3</sup>
底樋工	掘削	C2	振動ローラ		m <sup>3</sup>
	床掘	E	B3		m <sup>3</sup>
洪水吐	掘削	C	振動ローラ		m <sup>3</sup>
	床掘	E	B3		m <sup>3</sup>
	計			434.6	m <sup>3</sup>

流用  
434.6 m<sup>3</sup>

434.6 - 315.9 = 118.7 m<sup>3</sup>

残土処理		盛 土・埋 戻	
堤体	表土	A	埋戻
	泥土	C1	Fu
	掘削	C3	Fu
	掘削	C4	Fu
	掘削	C5	Fu
床掘	軟岩 I	E2	Fu
床掘	軟岩 II	E3	Fu
底樋工	表土	A	埋戻
仮設道路	泥土	C(H)	埋戻
			315.9

洪水吐	埋戻	(タンパー)	Fu	314.7	m <sup>3</sup>
底樋	埋戻	(タンパー)	Fu		m <sup>3</sup>
ドレーン	埋戻	(タンパー)	Fu		m <sup>3</sup>
張コン	埋戻	(タンパー)	Fu	1.2	m <sup>3</sup>
	計			1.2	m <sup>3</sup>
	盛土・埋戻	合計		315.9	m <sup>3</sup>
		÷	0.9	351.0	m <sup>3</sup>

### 残 土

流用土	(タンダム材)	434.6	-	351.0	=	83.6	m <sup>3</sup>
購入土			×	1.2	=	0.0	m <sup>3</sup>

コア材 (搬入土)		残土処理			
堤体	コア材1	B2	振動ローラ		
	コア材2	B2	(タンパー)		
止水壁	コア材1	B4	振動ローラ		
	コア材2	B5	(タンパー)		
	計				
		470.9	÷ 0.9 × 1.2 =	627.9	m <sup>3</sup>

表土			106.5	m <sup>3</sup>
泥土			208.6	m <sup>3</sup>
堤体			83.6	m <sup>3</sup>
残土			398.7	m <sup>3</sup>



# 数 量 計 算 書

( 堤 体 土 工 )

測 点	距 離	床 掘			盛 土 振 動 口 ー ラ ー			鋼 土 振 動 口 ー ラ ー		
		断 面 E	平 均 断 面	立 積	断 面 B1	平 均 断 面	立 積	断 面 B2	平 均 断 面	立 積
NO.0										
NO.2+10.0	2.00				0.0			0.0		
		2.6			9.0	4.50	9.0	12.2	6.10	12.2
NO.3	10.00	2.6	2.60	26.0	9.0	9.00	90.0	14.2	14.20	142.0
NO.3+10.0	10.00	2.5	2.55	25.5	8.2	8.60	86.0	13.1	13.65	136.5
NO.4	10.00	2.5	2.50	25.0	7.6	7.90	79.0	11.7	12.40	124.0
	3.40	2.3	2.40	8.2	5.9	6.75	23.0	8.9	10.30	35.0
NO.4+5.0	1.60	2.1	2.20	3.5	4.9	5.40	8.6	6.8	7.85	12.6
NO.4+7.0	2.00	1.8	1.95	3.9	2.4	3.65	7.3	1.8	4.30	8.6
	2.00				0.5	1.45	2.9			
	0.70				0.0					
	3.30				0.3	0.15	0.1			
B 右岸	1.00				3.2	1.75	5.8			
	1.00				1.3	2.25	2.3			
	1.00				0.0	0.65	0.7			
合 計	47.00			92.1			314.7			470.9





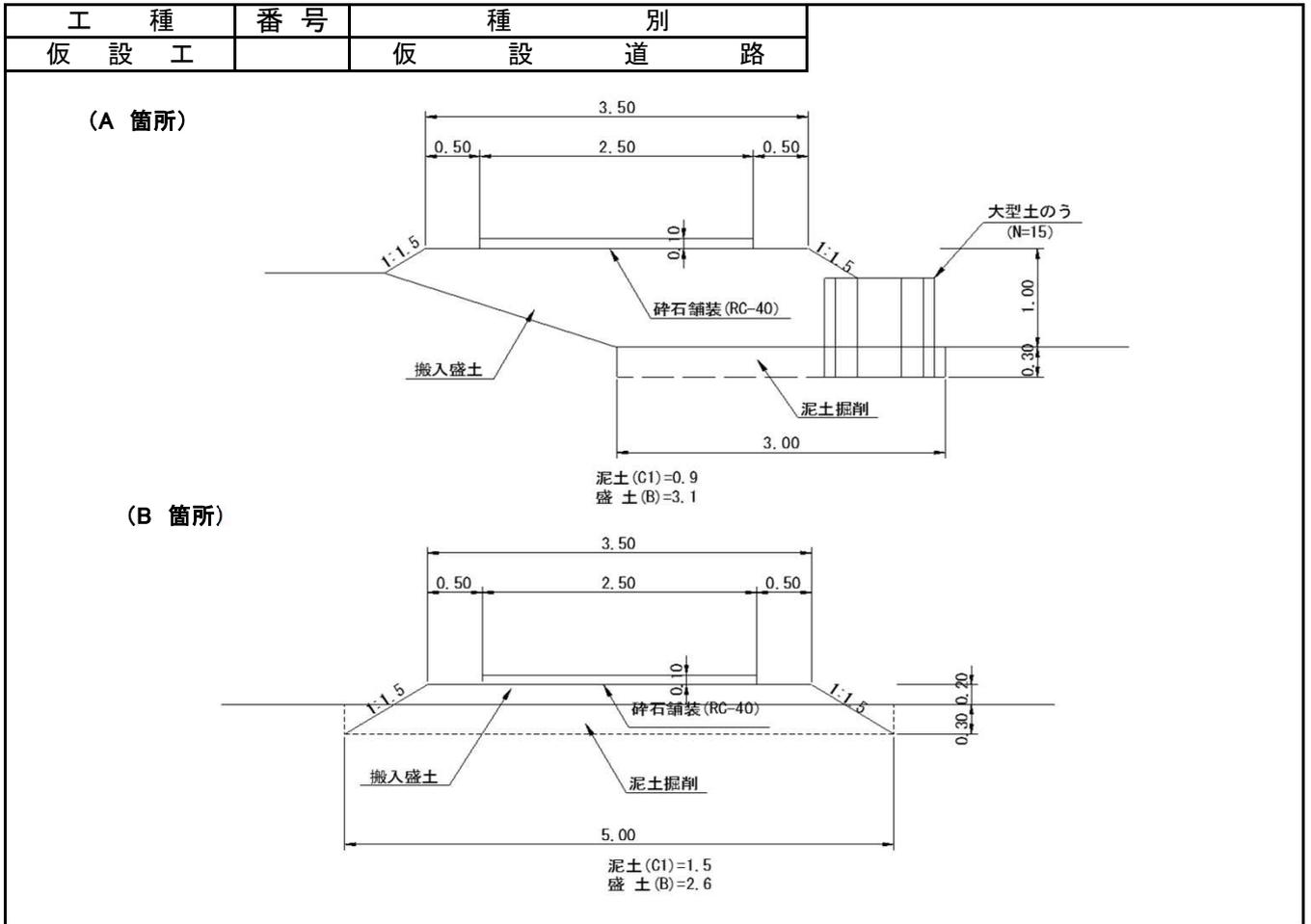




# 数 量 計 算 書

測 点	距 離	張 ブ ロ ッ ク 工			裏 込 工			天 端 コ ン ・ ブ ロ ッ ク 基 礎		
		断 面	平 均 断 面	平 積	断 面	平 均 断 面	平 積	断 面	平 均 断 面	平 積
NO.0							(t=0.15m)		天端	基礎
NO.1										
	4.55	8.7	8.70	39.6	1.3	1.30	5.9		4.55	4.55
	0.45	6.1	6.10	2.7	0.9	0.90	0.4		0.45	
NO.1+17.5	0.60									
0.45	0.45	6.1	6.10	2.7	0.9	0.90	0.4		0.45	
	2.55	8.7	8.72	22.2	1.3	1.30	3.3		1.55	2.55
NO.2	2.00									
合 計	10.60			67.2			10.0		7.00	7.10

# 各種数量計算書



名称	規格	計算式	単位	数量 1.0式当り
<b>仮設道路設置</b>	<b>A 箇所(W=3.5m)</b>	L=17.0m		
泥土掘削	粘性土	3.0*0.3*17.0	m <sup>3</sup>	15.3
搬入盛土	砂質土	3.10*17.0	m <sup>3</sup>	52.7
碎石舗装	RC-40(t=0.1m)	2.5*17.0	m <sup>2</sup>	42.5
<b>仮設道路設置</b>	<b>B 箇所(W=3.5m)</b>	L=41.0m		
泥土掘削	粘性土	5.0*0.3*41.0	m <sup>3</sup>	61.5
搬入盛土	砂質土	2.6*41.0	m <sup>3</sup>	106.6
碎石舗装	RC-40(t=0.1m)	2.5*41.0	m <sup>2</sup>	102.5
<b>仮設道路撤去</b>	(L=58.0m)	(17.0+41.0)		1.0式当り
泥土掘削・撤去	粘性土	15.3+61.5 (堤体工に計上)	m <sup>3</sup>	76.8
大型土のう	製作・設置	13.0+3.0	袋	15.0
仮設道路盛土	砂質土	52.7+106.6	m <sup>3</sup>	159.3
搬入盛土	購入土	(52.7+106.6)/0.9*1.2+15	m <sup>3</sup>	227.4
碎石舗装	RC-40(t=0.1m)	42.5+102.5	m <sup>2</sup>	145.0
大型土のう撤去			袋	15.0
仮設道路掘削	土砂・碎石	52.7+106.6+(42.5+102.5)*0.1	m <sup>3</sup>	173.8
仮設道路撤去	処分	52.7+106.6+(42.5+102.5)*0.1+15/1.2	m <sup>3</sup>	186.3
仮設パイプ	Φ250mm		m	10.0

# 位置図

位置座標 ( 34.547472, 133.012661 )

大番大池



この図は、国土地理院地図を使用したものである。